

平成 28 年度「ともに学びつなげる図書館・実践編」報告書

目的 図書館のサービスを分野ごとに学び、図書館の役割を再認識するとともに、改善できること、今から取り組めることについて学ぶ。

テーマ「学校図書館と公共図書館」

豊中市は小中学校全校に専任の学校図書司書を配置し、授業作りのサポートや資料準備など、充実した学校図書館教育を行っている。学校図書館の役割と公共図書館との連携について学ぶ。

日 時 28年8月21日(土)

講 師 頭師 康一郎氏(元豊中市桜井谷東小学校図書館司書)

参加人数 32名

(報告) 学力向上のためには学校図書館の充実が必要であることを学びました。岸和田市は学校図書館コーディネーターが配置されていますが、役割はあまり知られていません。まずは発信し、知ってもらうことが大切であると学んだ講演会でした。



テーマ「図書館と郷土資料」

岸和田市立図書館は、昭和3年開館と歴史が古く貴重な資料が多くあるが、現状として予算や人手ルートの確保ができないことから、貴重であるが閲覧に供することのできない未整備の資料がたくさんある。図書館における郷土資料の収集と保存、提供の役割を学ぶ。

日 時 28年12月18日(日)

講 師 橋本 唯子氏(和歌山大学附属図書館准教授)

行 龍男氏(元岸和田中学校教諭)

下村 欣司氏(元岸和田高校教諭・地域資料研究家)

参加人数 34名

(報告) 郷土資料の収集・保存・活用の事例紹介がありました。保存や語りつぐことの大切さを改めて知り、まずは、未整備の資料がどれだけあるかの目録作成から始めたいと考えるきっかけになりました。次年度から取り組めるように話し合いを重ねているところです。



テーマ「生涯学習と図書館」

図書館でボランティアをされている市民や、利用者、現場で働く職員にとって理想の図書館とは何か? ワークショップで、グループに分かれて理想の図書館を話し合い、実現するにはどうすればよいかを学ぶ。

日 時 29年3月4日(土)

講 師 松岡 広路氏(神戸大学大学院教授・岸和田市生涯学習審議会委員長)

参加人数 20名

(報告) 情報化社会になり、本以外の情報があふれている現代で、年代や性別により求めるものは異なり、図書館に求められているものが多様化していることがわかりました。理想の図書館に近づくには市民との協働が不可欠です。今後も協力して図書館を充実させるためには話し合いを重ね、実行していくことが大切であると学びました。

